

## Element Active USER'S GUIDE

*L.R. Baggs*

エルアールバッグスの製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。エレメントは、ブリッジ・サドル下のエレメント・ピックアップとエンドピン内の完全独立型A級プリアンプ、サウンドホールに取り付けるヴォリュームコントロールで構成されています。エレメント・アクティブはいかなる機材でも動作するように設計されていますが、ハイ・クオリティなフルレンジPAを通した際に最大限の効果を発揮します。またプリアンプ電源のON/OFFはケーブルの抜き差しによって行います。

## ピックアップの取付け

### 最初に読んでください

エレメントの最大限のパフォーマンスのために、サドル溝にきれいな平面が出ていることを確認してください。また、サドル溝の深さは最低3ミリ必要ですが、サドルの極度な前傾を防ぐために、少なくとも4.8ミリの深さを推奨します。

### ご注意

ブリッジ表面から見えるサドルの高さがブリッジ下に隠れているサドルの深さを超えないようにしてください。ピックアップのバランスと出力が低下する恐れがあります。サドル溝の床を傷つけないように穴を開けるには小さいドライバーなどを使ってドリルがサドル溝の底面に当たらないように注意して下さい。(図2・図3)。

### 取り付け

- 1 ギターから弦とブリッジ・サドルを取り外します。
- 2 ギターの内側からブレイシングの位置を確認し、サドル溝に合ったドリルを使い1弦側か6弦側のどちらかからブレイシングを傷つけないように穴を開け(図4・図5)、エア・コンプレッサーなどで木屑などを掃除しておいて下さい(重要: サドルを載せた際にピックアップが鋭角に曲がらないように穴の内側を丸ヤスリなどを使ってまらめてください)。
- 3 次にピックアップをギターの内側から先ほど開けた穴に通します。この時、爪楊枝などをギターの外側から刺してガイドにすれば、ピックアップ用の穴を見つけやすいでしょう。
- 4 サドルをブリッジにもどし、一旦セットして、鉛筆などでサドルを削る分だけ印をつけます。
- 5 ベルトサンダーを使って大まかにサドル底面を削り、最後の調節は手で行います。この際ヤスリ側に正確な平面が出ていることを確認してください。物差しと懐中電灯などの強い発光体を使ってサドル底面の平面を確認するとよいでしょう。(重要: サドルがサドル溝にフィットしていること、サドル溝とサドルの底面両方が正確な平面であることが、ピックアップの取り付けにおいて最重要条件になります。指で無理なくサドルの取り外しができるように取り付けますが、そうすると弦を張った時にサドルがほんの少しナット側に傾きます(図6)。この傾きを考慮に入れてサドルの底面を加工する必要があります。ただしサドルがきつ過ぎたり緩過ぎたりすると、この加工は出力バランスと音量に悪影響を与えます)。

- 6 サドルをセットし、一時的にテープなどで固定します。ピックアップからのリード線を付属の配線クリップを使って表甲の裏側に取り付けます(図7)これを怠るとボディの振動などでリード線が表甲などに当たり変な音を出すことがあります。

図.1

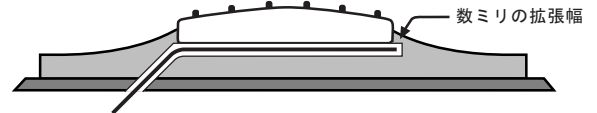


図.2

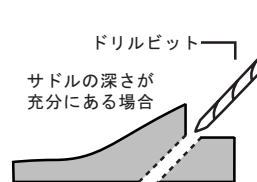


図.3

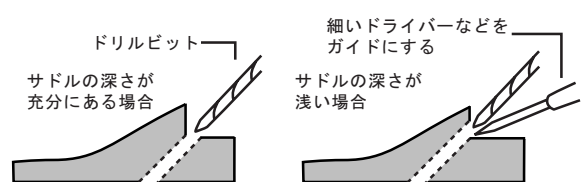


図.4

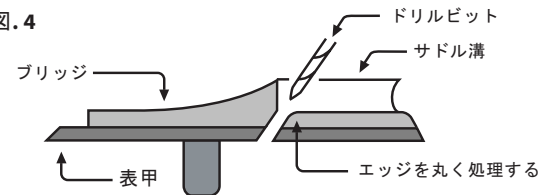


図.5

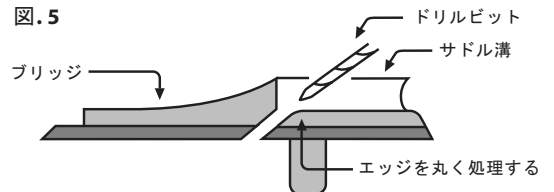


図.6

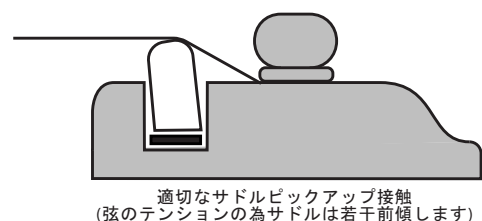
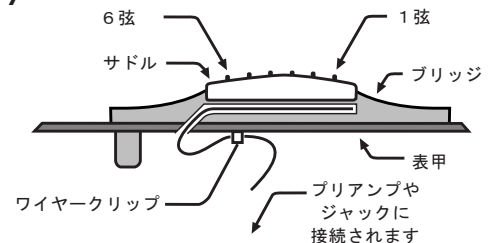


図.7



## プリアンプの取付け

このプリアンプを取り付けるには1/2インチ（約 12.5 ～ 12.7ミリ）のきれいな穴が必要です。

1. 既存のストラップ・ボタンを取り外します。
2. 最初についているストラップ・ボタンの穴をガイドとして、ステップ・ドリルを使ってプリアンプのための穴を開けます。
3. ジャックからストラップ・ボタン、ナット、ワッシャーを外し、プリアンプを先ほど開けた穴に通します。
4. 径の小さいほうのネジきり部分がほぼ全て穴から飛び出すように内側のナットを調節します（図8）。
5. 最初にはずしたワッシャーとナットを取り付け、その上からストラップ・ボタンを取り付けます。中のネジが切つてある部分がわずかに出る位がジャックを入れた時のすわりが良いです。（図9）

### ボリューム・コントロール

ボリューム・コントロール裏側のテープをはがし、お好みの場所に貼り付けてください。通常は6弦側のサウンドホール内側に（図10）のように取付けます。

### バッテリー・バッグ

ギターの（表甲以外の）内側の手の届くところに貼り付けてください。電池はフラップを上げてお入れください。

### その他の特徴

（図11）をご参照下さい。AUX Passive Inputにはマイクを接続することができます。

**Aux Passive** : ミニマイクやマグネチックPUをつなぐことができます、iBEAMなどのハイインピーダンスPUはつなげられません。（ステレオケーブルを使用）

**Mini Mic. を付ける** : マイクはRING側となりステレオケーブル使用時にファントムパワーが外部プリアンプで必要です（L. R. Baggsのステレオアウトの場合 "Para Acoustic D. I."を2台、モノ MIXアウトは "MixPro"をお勧めします。）

**Magnetic PUを付ける** : 同様にaux passive チャンネルにつなげ（出力はRING側）ステレオケーブルを使用します。両アウトの出力レベルを合わせるには、2台のPara Acoustic D. I. を使うのがベストです。

### < Element Active Specifications >

▲Battery: 1 x 9V ▲Current Consumption : 0.5mA ▲ BatteryLife : 1000-Hrs.(Alkaline) ▲ LowCut Filter : Fixed , 12dB/oct.(45Hz) ▲Gain: 4~18dB ▲ S/N: -92dB ▲ Output Impedance: 800ohms

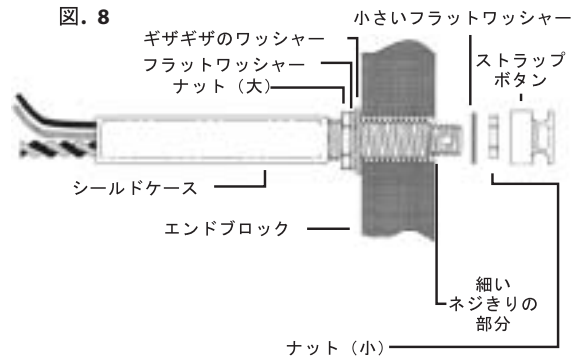


図9: プリアンプの取付け

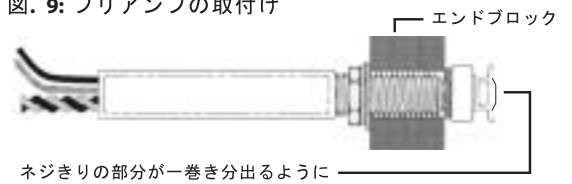
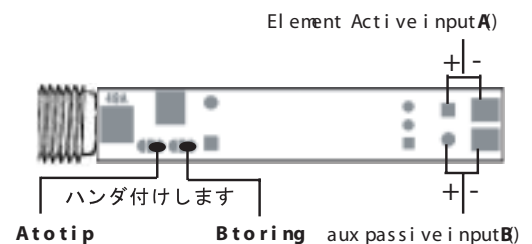


図10



図11 ElementがTip（メイン）の場合



ElementがRing（サブ）の場合

